# ランディングページとは

ランディングページは、検索エンジンや広告などからリンクされ、Web サイトの中で一番最初に表示されるページを意味する。

ランディングページはユーザーの目的に合わせた情報を提供し、コンバージョンに結びつける役割を持つ。

ユーザーは、検索サイトで検索したり広告をクリックしたりして Web サイトへと訪れる。したがってほとんどの場合、ユーザーは、何か探している情報があったり、具体的なニーズを抱えている。

そのため、検索された語句や、広告(バナー、リスティング広告)に含まれる語句がランディングページのメインビジュアルに含まれていた方が、コンバージョン率は良い。

逆にランディングページとユーザーが検索した語句が合致しなければ、ユーザーの離脱率は高くなる。

コンバージョンにつなげるためには、ランディングページでは、基本的に、ユーザーを別ページに移動させないこと。ユーザーの気を散らさない。ユーザーはランディングページに戻ってくれない。

ランディングページ内で必要な情報を完結させ、リンク、バナー、グローバルメニュー、サイドナビなど、余計なリンクは排除する。

ページの見やすさは直帰率と密接な関わりがある。

ランディングページは、通常の Web ページ以上に「見やすく」「読みやすく」「わかりやすく」すること。

例えばテキスト量。有益な情報があったとしても、テキストのみぎっしりある状態では、読む気にならない。画像やグラフ、図を増やす。見やすいだけでなく、ページ内容を理解しやすい。より短時間で情報を把握できる。

年齢 そのキーワード群で検索する人の年齢層は?

性別 そのキーワード群で検索する人の性別は?

世帯規模そのキーワード群で検索する人の家族構成は?

職業 そのキーワード群で検索する人は何をしている人?

所得 そのキーワード群で検索する人はどれぐらいの所得?

学歴 そのキーワード群で検索する人の学歴は?

住所 そのキーワード群で検索する人はどこに住んでいる?

まず、ターゲットの顔を思い浮かべながら、その人に響くベネフィットを考え付く限り書き出す。

次に、書き出したベネフィットの中から最も良いと思うものを5~10個抜き出す。組み合わすことができるベネフィットはまとめても良い。 抜き出したベネフィットをターゲットに近似した人に見てもらい、反応を見る。もっとも反応の良かったものをメインにする。

ランディングページ・バナーにおけるキャッチコピーの役割とは、上手い言い回しのセンスを褒めてもらうことではない。ターゲットの目に止まり、続きを読み進めたいと思わせることが重要。

ユーザーが求めているのは、今、現実に抱えている悩みを取払い、幸せを与えてくれるかどうかだけ。

キャッチコピーの役割は、あくまでも、ターゲットの注意を惹き付け、次へと 読み進めて貰うこと。それ以降のステップは、スクロールした次のブロックが 担当する。キャッチコピーでは、サービスの良さを具体的に伝える必要はな い。

ランディングページ集 ランディングページあつめました http://lp-web.com/ ランディングページデザインリンク集 http://www.landingpage-link.ip/

# ①メインビジュアル ページが長い場合は ブロックの区切れを 目安にはさみこむ ②申し込み・問い合わせ ③ユーザーの悩み

⑤サービスの内容・特徴・ 他社に無い強み・利用者の声など

**(4)** 

ベネフィット2

**(4)** 

ベネフィット3

**(4)** 

ベネフィット

⑥講師紹介・開催日程・開催場所・ 申し込みのステップなどの 具体的な詳細情報

⑦申し込み・問い合わせ

# ユーザーは「見ない」「読まない」「わからない」ということを忘れない!

ついクライアント目線で作りがちだが、ライティング、ラフ、ワイヤーフレーム、デザイン の各段階で、**必ずユーザー目線で見直してみよう**。回りくどかったり不明瞭な言葉は、排除・修正する。

### ①メインビジュアル

# ユーザーの期待に応えるビジュアルとキャッチコピー

サービス名よりもむしろ、ユーザーの悩みをズバリ出したり、ベネフィットを謳う。 ベネフィットとは、「(クライアントが伝えたい)そのサービスの特徴」ではなく、「そのサー ビスを利用することによって**(ユーザーが)手に入れられる未来**」のこと。

ユーザーがサイトを「**自分の欲しい情報かどうか**」を判断するのは 3 秒。その間にユーザーが離脱しないよう、**直感的に**「自分のことだ!」「自分に必要なページだ!」とわかることが大事。コピーは**手短に、的確に**ユーザーの期待に応えること。ビジュアルは、ユーザーが**初見でページの内容とベネフィットをきっちりイメージできる**ようにすること。

### ②申し込み・問い合わせ

## ユーザーがスムーズに申し込み・問い合わせできるよう配慮する

ユーザーが 1 回の訪問で申し込みをするとは限らない。再訪した際に速やかに申し込みできるよう、ファーストビューに申し込み先を明記すること。

ページが長くなる場合は、ブロックの区切れを目安に適宜はさみこむ。ユーザーにストレスを与えないよう、スクロール中にもすぐに見つかるよう、目立たせること。

## ③ユーザーの悩み

# ユーザーの共感・動揺を得て読み進めさせる

ネットを検索するということは、そもそも「**解決したいことがある**」ということ。ユーザーの悩みや問題点を書く事で、**共感**を得る。共感はコミュニケーション=広告の基本。また、危機感をあおることで、詳しく知りたいという流れを作る。

# ④3つのベネフィット

# ユーザーは「自分の幸せ」がもっとも大事

ユーザーの得られるベネフィットをわかりやすく簡潔に図解する。1 つでは物足りなく、5 つでは多すぎ、逆に混乱する。ユーザーがそのサービスを使うことで「得られる幸せ」を書く。③の問題がどう解決するのか。

# ⑤サービスの内容や特徴など

ここで初めてサービスの内容や特徴など、**クライアント側が伝えたいアピールポイント**を

①メインビジュアル ページが長い場合は ブロックの区切れを 目安にはさみこむ ②申し込み・問い合わせ ← ③ユーザーの悩み **(4**) **(4) (4**) | ベネフィット2 ベネフィット3 ベネフィット ⑤サービスの内容・特徴・ 他社に無い強み・利用者の声など ⑥講師紹介・開催日程・開催場所・ 申し込みのステップなどの 具体的な詳細情報 ⑦申し込み・問い合わせ

語る。その場合も必ず**ユーザー目線を忘れないこと**。安心や信頼、簡便性を伝えることが大事。

# ⑥申し込みに必要な具体的な詳細情報

開催日程や開催場所、募集人数、申し込み手順など、ユーザーに必要な詳細情報。誤字脱字にくれぐれも気をつけること。

## ⑦申し込み・問い合わせ

申し込み・問い合わせ先は最後にも必ず明記すること。 ユーザーに、サービスを手に入れるために、何をすればいいのかを指示する。

# ランディングページの例



ヒューマンリソシア

http://resocia.jp/ouen2013/shinsotsu/seminar1/



ヒューマンリソシア

http://resocia.jp/ouen2013/shinsotsu/seminar2/



パソナウーマン

http://powerwomen.jp/feature/intern/



パソナウーマン

http://powerwomen.jp/feature/kakei/



ヒューマンアカデミー

http://resocia.jp/ouen2013/shinsotsu/seminar1/



マイナビ転職

http://tenshoku.mynavi.jp/opt/kireiseminar/



マイナビ転職

http://tenshoku.mynavi.jp/aptitude/?af=topSideBar



マイナビ転職

http://tenshoku.mynavi.jp/opt/pr016/

# ランディングページの例



ジンチャレ!ジョブクラブ

http://resocia.jp/ouen2013/shinsotsu/seminar1/



ジンチャレ!ジョブクラブ

http://www.jincha.jp/seminar-event/new\_event/event316.html



ジンチャレ!ジョブクラブ

http://www.jincha.jp/seminar-event/new\_event/event290.html



蛭田昭史税理士事務所

http://www.hiruta-kaikei.com/letter/7step.htm



ジョブビレッジ

http://www.job-village.jp/about.html



クエストカフェ

http://www.questcafe.jp/business\_seminar/



船井総研

http://www.funaisoken.co.jp/seminar/312671.html